

- 当組合は、循環型社会の実現に向けた社会的要請の高まりを背景に、地域における資源循環の中核的な役割を果たすため、本社工場に隣接する第二工場を新設し、AI・光学技術等を活用した再資源化設備を導入します。
- これにより、各ラインの選別精度と処理効率を高め、多様な廃棄物について、自社一貫での大量処理・高付加価値な再資源化を可能とする体制を整備し、高付加価値化とCO₂原単位低減を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

開始時期2026年4月、終了時期2028年5月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を20.7%向上することを目標とします。

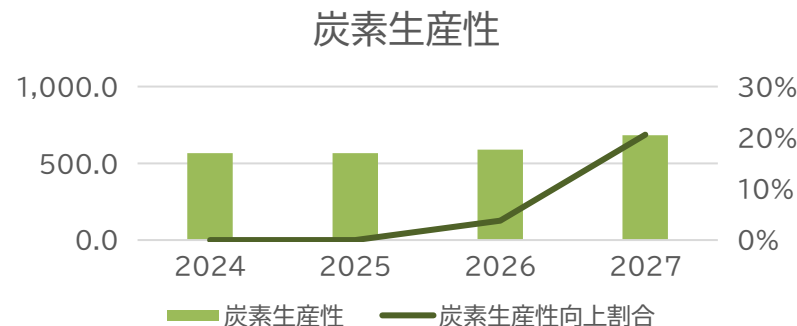
3. 前向きな取組の内容

本社工場と隣接する第二工場を一体的に運用し、AI・光学技術等を活用した再資源化設備を導入することで、処理能力の拡張および高付加価値な再資源化を推進する。これにより、処理量当たりのCO₂排出量が減少するとともに目標年度において付加価値額は基準年度比で446,367千円増加を実現し、炭素生産性の向上を図る。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>



取得予定用地（本社工場に隣接した土地）



Google MAPより



<主要施設概要>

- ・資源物再資源化工場
(廃プラスチック・飲料容器処理施設)
- ・廃棄物再資源化工場
(建築廃材処理施設)
- ・廃飲料再資源化施設
- ・破砕・プレス工場棟
- ・事務所棟
- ・福利厚生棟
(車庫含む)

◆取得予定の新工場建設予定地
<熊本市東区戸島町>
土地面積合計：約21,969.36㎡
(6,645.73坪)